

「よこはま健康スタイル」の推進に向けた  
 「よこはま健康スタンプラリー」事業の助成について

神奈川県遊技場協同組合(理事長：伊坂重憲)と神奈川県福祉事業協会(会長：伊坂重憲)では、横浜市が「よこはま健康スタイル」として推進する「よこはま健康スタンプラリー」事業に賛同し、ラリー完了者に提供する景品640セット約300万円相当を寄贈しました。これに対し、横浜市長から感謝状が贈られました。

1. 贈呈日	令和元年11月11日（月）
2. 場所	横浜市庁舎 2階市長応接室
3. 贈呈者	神奈川県遊技場協同組合 理事長 神奈川県福祉事業協会 会長 伊坂重憲
4. 受贈物品	・ジェフグルメカード500円×6枚組 50個 ・オムロン低周波治療器 70個 ほかに520セット 約300万円相当

5. 概要

横浜市（健康福祉局保健事業課）は、「健康長寿日本一」を目指し、元気で活動的な高齢期を過ごしていただく「370万市民健康づくり」を推進しています。特に重要な具体的施策を「よこはま健康アクション」としてまとめ先進的な都市型の「健康づくり横浜モデル」を創出し、その取り組みの一つである「よこはま健康スタンプラリー事業」は、全年齢が参加でき、障害者向けイベントをポイント対象とするなどすべての市民が参加できる内容となっており、この事業継続のモチベーションを高めるためにラリー完了者に対し、抽選で健康増進向け景品を提供することとしています。神奈川県遊技場協同組合と神奈川県福祉事業協会は、この趣旨に賛同し、景品640セット、約300万円相当を寄贈することとしたものです。この支援に対して、横浜市長から感謝状が贈られました。

この寄贈の様子は、神奈川新聞、毎日新聞、タウンニュースに掲載され、さらに、TVK神奈川では、夕方のTVKニュースでも紹介されました。

